

第20～第22回鳥取県理学療法学会に参加した皆様へ

「理学療法士養成校に学会大会を配信することによる学会マインドへの影響」について

はじめに

鳥取県理学療法士会では、毎年11月か12月初旬に「鳥取県理学療法学会大会」を開催していますが、2021年から県内の2校の理学療法士養成校（鳥取市医療看護専門学校、YMCA米子医療福祉専門学校）にサテライト会場を設置し、学生の方にもライブ配信で視聴していただいております。そこでは、実際に学生が疑問に思ったことも質問を行い、講師や演題発表の先生とやりとりすることもあり、教育的効果も高いと考えております。今回、これまで皆様にご回答いただいたアンケート結果と県学会の参加者の情報の解析を行い、今後の学会大会や論文等で公表する予定で考えております。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けており、県内の2校の養成校と協同して行っています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2021年度～2023年度に鳥取県理学療法士会が開催した第20～22回の鳥取県理学療法学会大会において、参加者のデータから県学会の参加者数、年齢などの記述統計と、県内の2校の理学療法士養成校に設置したサテライト会場にて視聴した学生を対象に、開催時に行ったアンケートのデータを収集し、ライブ配信で学会大会の視聴をした学生の学会活動への意識とその変化について調査することにしています。

すべての情報はYMCA米子医療福祉専門学校、鳥取市医療看護専門学校で集計され、責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる方は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

第20回～第22回鳥取県理学療法学会大会にご参加いただいた養成校の学生の皆様のアンケートから以下の項目を集めさせていただきます。

【学会大会に参加した学生の皆様に行ったアンケート】

- ・所属する養成校の年限
- ・学年

- 年齢
- 性別
- 日頃、学校の教科書を読むほうだと思いますか？
- 日頃、理学療法に関する雑誌を読むほうだと思いますか？（例：PT ジャーナルや理学療法等）
- 日頃、理学療法に関する研究論文を読むほうだと思いますか？
- 日頃、理学療法に関する情報をインターネット（動画やブログなど）から得るほうだと思いますか？
- 研究法について学んだことがありますか？
- 理学療法に関する研究活動について興味はありますか？
- 学生の頃から、理学療法に関する研究活動を実践したいと思いますか？
- 学術大会への参加は何回目でしたか？
- 参加した会場はどこでしたか？
- 参加した理由は何ですか？
- 参加したセッションは何ですか？
- 興味が湧いたセッションは何ですか？
- 最も興味が湧いたセッションは何ですか？
- 学術大会に参加して、理学療法に関する研究活動について興味関心は湧きましたか？
- 学術大会に参加する前と比較して、理学療法に関する研究活動についての興味関心は変化しましたか？
- 学生が学術大会に参加する意義やメリットは、どのような点があると思いますか。
- 学術大会で取り上げて欲しい内容があれば、お書きください。
- 学術大会の感想や意見があればお書きください。
- 将来的に、研究活動をしたいと思いますか？
- 今後も、鳥取県の学術大会に参加したいと思いますか？
- 将来的に、鳥取県の学術大会で発表したいと思いますか？

【第20回～22回鳥取県理学療法学術大会に参加した理学療法士のデータ】

- 各学術大会に参加した理学療法士の年齢、性別、卒後年数、学術大会参加者数

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2026年12月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

ご回答いただいたアンケートには氏名や住所など個人を特定できる内容は含まれていません。また、学術大会に参加した理学療法士の情報で、氏名や住所など個人が特定できる情報は使用しません。このようにして個人情報の管理については十分に注意を払います。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた方には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は今後の鳥取県理学療法学会の運用に役立ち、学会がより充実した開催方法に発展していく可能性があります。なお、情報を使用させていただいた方への謝礼等もありません。

不利益・・・特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく対象者の情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、対象者の情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画を立てて研究に参加する研究機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、対象者個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

本研究では、無記名によるアンケートおよび匿名化した情報を用いるため、個人を特定することが難しく、いただいた情報を個別に削除することはできません。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究を行うにあたり特段の資金は要せず、研究の実施においては特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、対象者の個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に対象者の個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 研究代表施設および研究代表者の情報

曾田 武史 鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部
〒683-8503 鳥取県米子市西町 36-1
TEL：0859-38-6862 / FAX：0859-38-6860

12. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、研究対象者の情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、研究対象者の情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

大森 隆生 YMCA 米子医療福祉専門学校
〒683-0825 鳥取県米子市錦海町 3 丁目 3-2
TEL : 0859-35-3181 FAX : 0859-35-3182

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL : <http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)

13. 研究実施機関および研究責任者

研究代表者：曾田武史、鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL : 0859-38-6862 FAX : 0859-38-6860

研究分担者：大森隆生、YMCA米子医療福祉専門学校
〒683-0825、米子市錦海町3丁目3-2
TEL : 0859-35-3181 FAX : 0859-35-3182
E-mail : tomori@hiroshimaymca.org

山本真吾、鳥取市医療看護専門学校
〒680-0835 鳥取県鳥取市東品治町 103-2
TEL : 0857-30-7066/FAX : 0857-30-7061
E-mail: s-yamamoto@tcmn.ac.jp